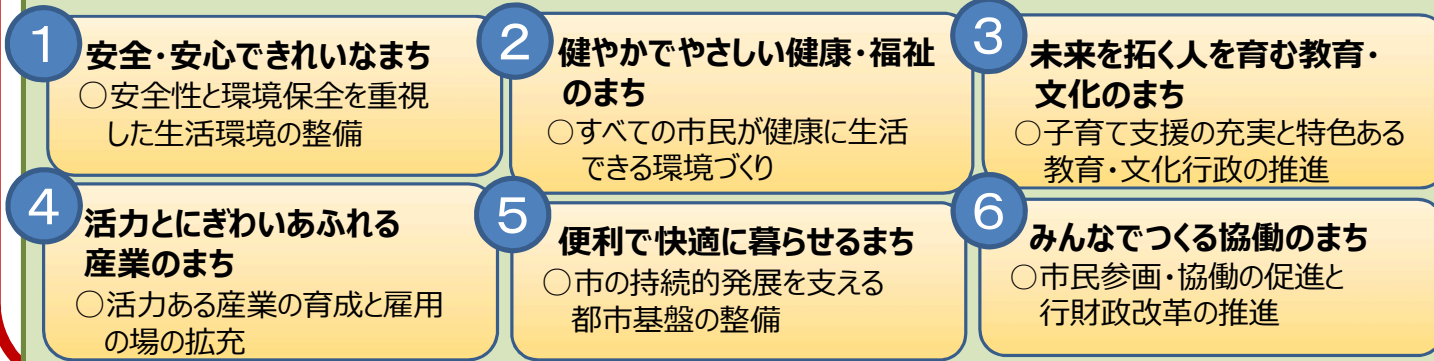


令和6年度 伊達市行政経営方針

- 「伊達市第3次総合計画」の将来像『人と緑と歴史が結び合う ひかり輝く田園空間・伊達市』の実現に向け、“あるもののばし”の視点に立ち、各施策・事業の選択と集中を行うことで、メリハリのある施策展開を図っていく。
- 社会情勢の変化に伴う新たな行政需要などに柔軟に対応し、市が持つ特性を更に伸ばすため、明確な方向性を示し、推進すべき分野を方針において定め、取り組んでいく。
- 令和6年度の行政経営方針は、「求められる施策の推進」、「持続可能な行財政経営の推進」、「社会情勢の変化への対応・市の特性を活かした取組」の3つを柱とし、新たな視点と発想を加え、将来にわたって魅力と活力のある伊達市を築くための取組を推進する。

1つ目の柱【求められる施策の推進】

「伊達市第3次総合計画」の基本目標



「第2期伊達な地域創生戦略」の基本目標

伊達にきてくなんしょ

【しごとをつくり、新しい人の流れをつくる】

おらほの子育て日本一

【若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

せっかくどうもない

【生きがいを持って暮らす地域共生社会をつくる】

2つ目の柱【持続可能な行財政経営の推進】

取組1 行政のデジタル変革

- 業務プロセスの再構築とデジタル技術の導入
- 行政手続のオンライン化と情報システムの標準化
- デジタル人財の育成

取組2 財政健全性の確保

- 将来負担の抑制
- 歳出削減の徹底と歳入の確保
- 公共施設の適正管理、保有総量の最適化

取組3 職員意識改革と能力の向上

- 職員の意識改革と意欲向上
- 機能的な組織体制の整備

3つ目の柱【社会情勢の変化への対応・市の特性を活かした取組】

- 少子化対策・こども政策の抜本強化
- 持続可能な経済財政運営や社会保障制度の構築
- 相馬福島道路を活用し、イオンモールと連携した地域振興
- 市の特性を活かした取組